

## 愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

## 研究に対するご協力をお願い

当院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後に保管されている残った試料（血液）を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報や保管されている試料（血液）を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	レオカーナ®を用いた血液吸着療法時の適正な治療条件の基礎的検討
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
試料・情報の提供を行う研究機関の研究責任者(個人情報管理者)	(診療科名) 循環器呼吸器腎高血圧内科学講座 (職名) 特任講師 (氏名) 莖田 昌敬
研究期間	研究機関の長の許可日 ~ 2028年12月31日
対象となる方	2023年4月1日から2025年12月31日までの間に愛媛大学医学部附属病院で単純血漿交換を実施する患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 原疾患、血液検査データ(免疫 Glob や Alb 値、感染症の有無など)、治療状況 等 (利用する試料) 血漿交換時に産生される本来廃棄される排液(血漿)
研究の概要(目的・方法)	本研究では、当大学で神経疾患や肝疾患、腎移植前の術前治療などの通常診療において単純血漿交換を実施された患者さんにおいて、血漿交換時に産生される排液(血漿)を使って、血液流量と時間で規定される血液処理量がレオカーナ®という他の血液浄化療法における治療効果に及ぼす影響を明らかにすることを目的とする。この研究は重症な閉塞性動脈硬化症という病気で下肢の切断が必要な患者さんに対する適正な治療条件の検討を目的としたものであり、その結果は今後の診療にも役立てられると考えています。
個人情報の保護	収集した試料・情報は、氏名、住所、カルテ番号、生年月日など、患者さんを直

について	接特定できる情報を削除し、研究用に付与した研究 ID のみを用いて管理します。そのため、個人を特定できる情報が外部に漏れることはありません。 本研究では、匿名化された血漿試料および研究情報を、共同研究機関である国立循環器病研究センターへ提供し、解析を行いますが、提供先においても研究 ID のみで管理され、個人情報を取り扱われることはありません。 また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院循環器呼吸器腎高血圧内科 荃田 昌敬 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5303

**【共同研究について】**

この研究は、以下に記載の他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんの試料・情報等は、氏名や住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を除いた上で、記録媒体を主管機関である愛媛大学医学部附属病院に提供します。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

**【研究組織】**

共同研究機関	(国立循環器病研究センター 創薬オミックス解析センター) (プロテオーム系解析室長) (杉山 直幸先生)
--------	---------------------------------------------------------